

日々の生活が音楽と共にある、こんな日常を素敵だと思いませんか？

音楽を聴くことはもちろん、楽器を奏でることは、より深く音楽と関わる素晴らしい経験です。

上達したいと思う気持ちは活力を与えてくれますし、発表という目標があればなおさらです。

僕の教室にもたくさんの子供たちがドラムを習いに来てくれています。

ドラムを通して子供たちの成長に関わることは、僕の喜びでもあります。

また、ピアノの三船優子さんも「親子で楽しむきらきら☆ピアノ」と題して、全国の子供たちと関わる機会を積極的に展開されています。

そんな僕たちが1年程前から活動を始めた OBSESSION、クラシックピアノとドラムというこれまでに無い組み合わせで、

クラシックの名曲と向き合いどう料理するか、やりがいに溢れたチャレンジを続けています。

今回、僕たちの希望でもある子供たちとの交流を千葉文化センターで行うことが出来、大変嬉しく思っています。

ワークショップでは、それぞれ違うジャンルで活動してきたふたりならではの視点に立ち、夏休みに入りたての子供たちと

「音楽の素晴らしさ・音を出すことの楽しさ・合奏することの喜び」をお伝えしたいと思います。

また、夜は僕たち OBSESSION の世界をたっぷりとお聴きいただきます。

熱く優雅な夏の日をどうぞお楽しみください。

堀越 彰



----- PROFILE -----

・三船優子 YUKO MIFUNE [Piano]

幼少時代をアメリカ・ニューヨークで過ごす。ジェローム・ローエンタール、井口秋子、奥村洋子、安川 加寿子、マーティン・キャンニに師事。

'88年日本音楽コンクール第1位。

桐朋学園大学首席卒業後、文化庁派遣にてジュリアード音楽院に留学。

'91年フリーナ・アワーバック国際ピアノコンクール優勝。

アメリカ・デビューをコンチェルトで果たし、カーネギーホール、リンカーンセンターなどでもリサイタルを行なう。

帰国後、各地でのリサイタル、国内すべてのオーケストラと共演。

ロシア、韓国、ニュージーランド、シンガポール、トルコなど、海外でもツアー、マスタークラスなどを行なう。

演奏活動以外にもラジオの「パーソナリティーやNHK-BS2「週刊ブックレビュー」の司会を務めるなど、多岐に渡り活躍。

CDはリスト作品、「ラブソフィー・イン・ブルー」、レコード芸術にて特選盤となった「バーバー・ピアノ作品集」「南米ピアノ作品集」など多数発売。「きらきらピアノ☆こども名曲集」、教則本「かんたんピアノの弾き方」(成美堂出版)など、ワークショップや音楽指導にも力を入れる。

シャープで切れのあるタッチ、繊細な美しい音色とダイナミックな演奏でつねに聴衆を虜にし、古典から現代音楽に至るそのレパートリーの幅広さにも定評がある。京都市立芸術大学非常勤講師。

HP: <http://www.yukomifune.com>

・堀越 彰 AKIRA HORIKOSHI [Drums & Percussion]

東京生まれ。13才からドラムを始め、海老沢一博氏、村上"ボンタ"秀一氏に師事。1990年「山下洋輔 ニュートリオ」でプロデビュー。国内を始め、ヨーロッパツアー、南米ツアー、ベルギーの野外コンサート、日本全国縦断88ヶ所サバイバルツアー等に参加。'94年新たに「山下洋輔デュオプラス」として活動を開始し10年に及びレギュラーユニットとして活動。また空間演劇集団パ・タラフマラの公演、アフリカンパーカッション、インドやネパールの古典音楽、琴、中国琵琶など様々なジャンルの演奏家とセッションを始める。邦楽と洋楽を融合し民謡を歌う伊藤多喜雄Bandでは国内外ツアーに参加、'03年紅白歌合戦にも出演する。この頃邦楽器と組んだ「東方異聞」クラシックを基軸とした「SOLO-ist」渡辺剛(vl)や深町純(pf)と「The W ILL」を結成するなどセルフプロデュースにも取り組む。「SOLO-ist」はマカオ公演キューバ公演を成功させる。'08年よりジャズピアニスト藤井輝子率いる「ma-do」に参加。オーストラリア、欧米など、十数カ国ツアーに同行。近年はパリ在住のアカordeイオン奏者taca、二胡奏者チェンミンらと共演する他、尺八奏者小演明人と「LOTUS POSITION」結成、NYで活動を開始。シルクド・ソレイユで活躍したパフォーマー フィリップ・エマールらと組む「INSTINCT」でも活動中。都内に2カ所のドラムスクールを持つ。楽器提供:Canopus

HP:<http://www.l.ttcn.ne.jp/play-ground/>